

CASBEE®熊本《新築》【性能表示】

■ 建物概要			■ 外観	
建物名称	株式会社 上組 八代物流センター 東棟	階数	平屋建て	
建設地	熊本県八代市新港町3丁目9-9	構造	S造	
用途地域	工業専用地域、法22条区域	平均居住人員	50 人	
気候区分	地域区分V	年間使用時間	2,000 時間/年	
建物用途	事務所、工場、	評価の段階	実施設計段階評価	
竣工年	2015年9月 予定	評価の実施日	2015年2月3日	
敷地面積	34,841 m ²	作成者	五洋建設(株)梁瀬和人	
建築面積	11,710 m ²	確認日	2015年2月4日	
延床面積	12,046 m ²	確認者	五洋建設(株)根川勝則	

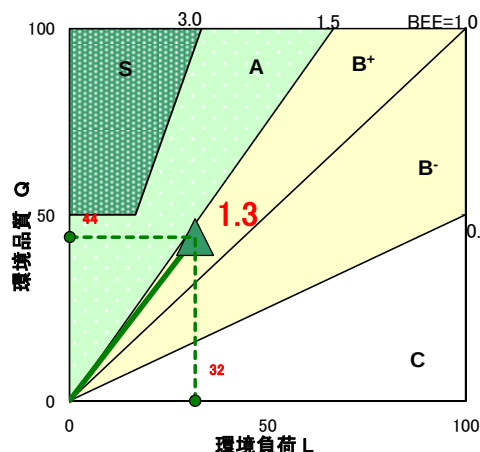
1 CASBEE評価結果

■ 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)



BEE = 1.3

■ BEE(環境効率) = $\frac{Q(\text{環境品質})}{L(\text{環境負荷})}$



■ 環境効率評価基準

ランク	ランク表示	評価	判定値	
			BEE値	Q値
S	★★★★★	素晴らしい	3.0以上	50以上
A	★★★★	大変良い	1.5以上3.0未満	—
B+	★★★	良い	1.0以上1.5未満	—
B-	★★	やや劣る	0.5以上1.0未満	—
C	★	劣る	0.5未満	—

■ ライフサイクルCO₂ 排出性能評価基準

判定値(排出率)	ランク表示
30%以下	★★★★★
30%超60%以下	★★★★
60%超80%以下	★★★
80%超100%以下	★★
100%超	★

■ ライフサイクルCO₂排出性能(ランク表示)



排出率

79%

2 熊本県重点評価結果

■ 重点事項総合評価



評価点

78

評価点

■ 熊本県重点評価基準

【重点事項1】 温室効果ガス排出量削減の推進

90.0

【重点事項2】 安全安心で暮らしやすい社会の実現

52.5

【重点事項3】 県の地域資源の有効活用と保全

67.8

【重点事項4】 循環型社会の実現

89.2

判定値(評価点)	ランク表示
100点以上	★★★★★
80点以上100点未満	★★★★
60点以上80点未満	★★★
40点以上60点未満	★★
40点未満	★

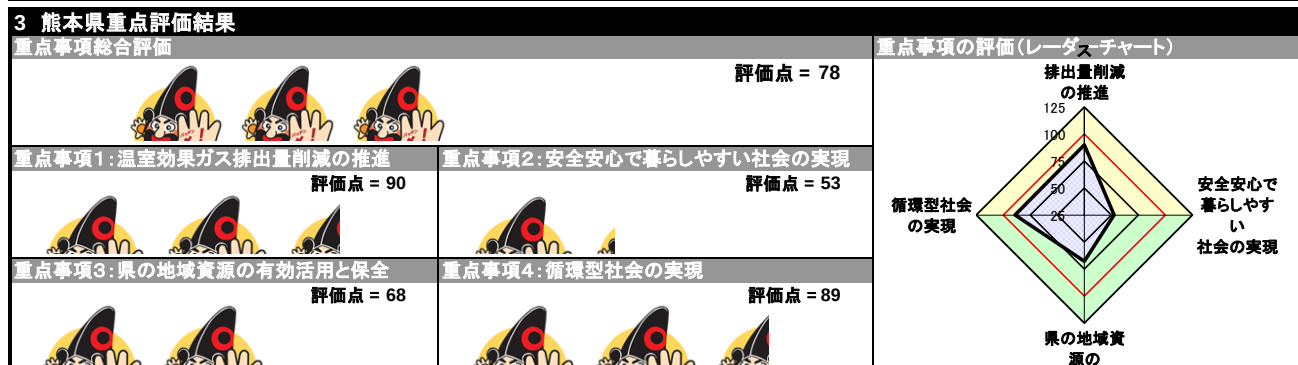
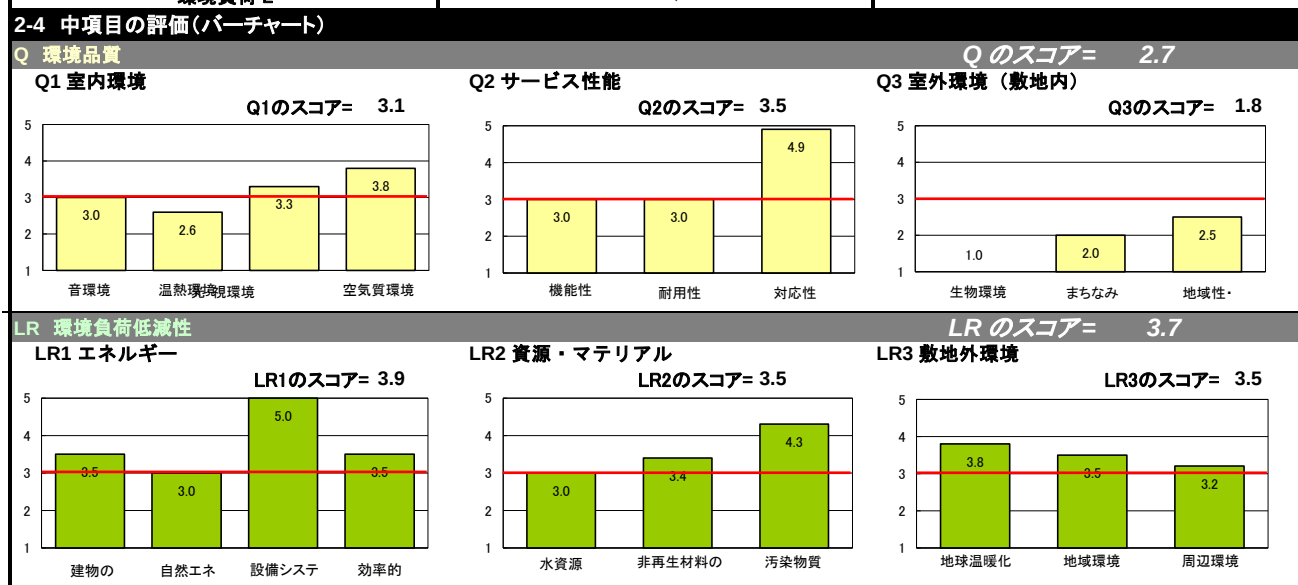
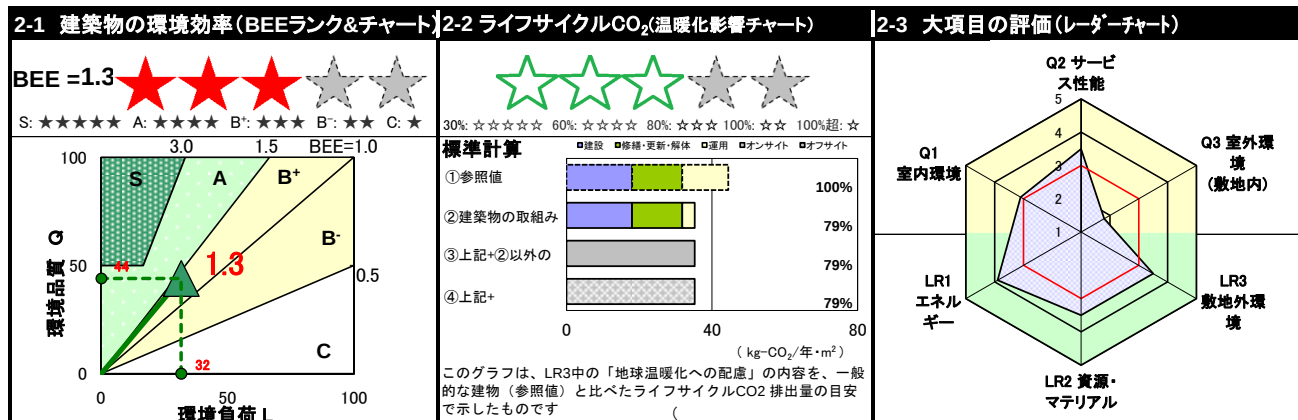
※評価点は、100点以上が推奨です。

CASBEE® 熊本《新築》【評価結果】

この評価ソフトは、改正省エネ基準の経過措置が終わる2015年3月までの期間限定で使用できます。

■ 使用評価マニュアル：CASBEE 新築 (国庫版) 2010年補綴版Ver.2 (RPIR版) | 使用評価ソフト：CASBEE-NCb_2010bpi&bei(v.2.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	株式会社 上組 八代物流センター 東棟	階数	平屋建て
建設地	熊本県八代市新港町3丁目9-9	構造	S造
用途地域	工業専用地域、法22条区域	平均居住人員	50 人
気候区分	地域区分V	年間使用時間	2,000 時間/年
建物用途	事務所、工場、	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2015年9月 予定	評価の実施日	2015年2月3日
敷地面積	34,841 m ²	作成者	五洋建設(株)梁瀬和人
建築面積	11,710 m ²	確認日	2015年2月4日
延床面積	12,046 m ²	確認者	五洋建設(株)利根川勝則



■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)
 ■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

CASBEE[®] 熊本《新築》【配慮事項】

4 設計上の配慮事項

総合

倉庫の収容能力を最大限確保する事を前提に、建物および敷地に対する配置を決定した上で、高効率の設備を採用する事で、省エネ、環境に配慮する様にしている。

Q1 室内環境

天井を高く設定する事により、快適性を高める様配慮している。

Q2 サービス性能

収容物の変更があった場合でも対応が可能なように、床荷重は大きく取るようにしている。
また、内装をほとんど設けておらず、設備等の更新が容易になっている。

Q3 室外環境（敷地内）

当該敷地の風向等の調査、大型庇の設置などにより、敷地内歩行者の暑熱環境の緩和に配慮している。

LR1 エネルギー

高効率照明を採用している。

LR2 資源・マテリアル

解体時の分別が容易になる様配慮している。

LR3 敷地外環境

敷地内での車両の待機、駐車場の確保等により、交通障害を起こさない様配慮している。

その他

主要用途が倉庫という事もあり、物品の入出庫における効率化を図る為にプラン（配置・平面）の検討を行い、待機車輛の時間の低減を図り、環境への負荷の緩和に配慮している。

CASBEE-新築(簡易版)2010年追補
株式会社 上組 八代物流センター 東棟

欄に数値またはコメントを記入

■使用評価マニュアル CASBEE-新築(簡易版)2010年追補版Ver.2 (BPI&BEI対応)
■評価ソフト: CASBEE-NCb_2010bpi&bei(v

スコアシート 実施設計段階		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み係数	評価点	重み係数	
Q 建築物の環境品質						2.7
Q1 室内環境			0.30			3.1
1 音環境		3.0	0.15	-	-	3.0
1.1 騒音		3.0	0.40	-	-	
1 室内騒音レベル		3.0	1.00	3.0	-	
2 設備騒音対策		-	-	-	-	
1.2 遮音		3.0	0.40	-	-	
1 開口部遮音性能		3.0	0.60	3.0	-	
2 界壁遮音性能		3.0	0.40	3.0	-	
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)		3.0	-	3.0	-	
4 界床遮音性能(重量衝撃源)		3.0	-	3.0	-	
1.3 吸音		3.0	0.20	3.0	-	
2 温熱環境		2.6	0.35	-	-	2.6
2.1 室温制御		3.0	0.50	-	-	
1 室温		3.0	0.38	3.0	-	
2 負荷変動・追従制御性		-	-	-	-	
3 外皮性能		3.0	0.25	3.0	-	
4 ゾーン別制御性		3.0	0.38	-	-	
5 温度・湿度制御		-	-	-	-	
6 個別制御		-	-	-	-	
7 時間外空調に対する配慮		-	-	-	-	
8 監視システム		-	-	-	-	
2.2 湿度制御		1.0	0.20	3.0	-	
2.3 空調方式		3.0	0.30	3.0	-	
3 光・視環境		3.3	0.25	-	-	3.3
3.1 昼光利用		4.2	0.30	-	-	
1 昼光率	2.5%以上となっている。	5.0	0.60	3.0	-	
2 方位別開口		-	-	3.0	-	
3 昼光利用設備		3.0	0.40	3.0	-	
3.2 グレア対策		3.0	0.30	-	-	
1 照明器具のグレア		-	-	-	-	
2 昼光制御		3.0	1.00	3.0	-	
3 映り込み対策		-	-	-	-	
3.3 照度		3.0	0.15	3.0	-	
3.4 照明制御		3.0	0.25	3.0	-	
4 空気質環境		3.8	0.25	-	-	3.8
4.1 発生源対策		5.0	0.50	-	-	
1 化学汚染物質	90%以上をF☆☆☆☆を採用。	5.0	1.00	3.0	-	
2 アスベスト対策		-	-	-	-	
3 ダニ・カビ等		-	-	-	-	
4 レジオネラ対策		-	-	-	-	
4.2 換気		3.0	0.30	-	-	
1 換気量		3.0	0.33	3.0	-	
2 自然換気性能	自然換気有効開口が100cm ² /m ² 以上となっている。	5.0	0.33	3.0	-	
3 取り入れ外気への配慮		1.0	0.33	3.0	-	
4 給気計画		-	-	-	-	
4.3 運用管理		2.0	0.20	-	-	
1 CO ₂ の監視		3.0	0.50	-	-	
2 喫煙の制御		1.0	0.50	-	-	
Q2 サービス性能		-	0.30	-	-	3.5
1 機能性		3.0	0.40	-	-	3.0
1.1 機能性・使いやすさ		3.0	0.40	-	-	
1 広さ・収納性	一人当たり16㎡となっている。	5.0	0.33	3.0	-	
2 高度情報通信設備対応		3.0	0.33	3.0	-	
3 バリアフリー計画		1.0	0.33	-	-	
1.2 心理性・快適性		2.6	0.30	-	-	
1 広さ感・景観	天井高さが2.7m以上としている。	4.0	0.33	3.0	-	
2 リフレッシュスペース		1.0	0.33	-	-	
3 内装計画		3.0	0.33	-	-	
1.3 維持管理		3.5	0.30	-	-	
1 維持管理に配慮した設計	汚染性の高い建材等を採用している。	4.0	0.50	-	-	
2 維持管理用機能の確保		3.0	0.50	-	-	
3 衛生管理業務		-	-	-	-	
2 耐用性・信頼性		3.0	0.31	-	-	3.0
2.1 耐震・免震		3.0	0.48	-	-	
1 耐震性		3.0	0.80	-	-	
2 免震・制振性能		3.0	0.20	-	-	
2.2 部品・部材の耐用年数		3.0	0.33	-	-	
1 躯体材料の耐用年数		3.0	0.23	-	-	
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		3.0	0.23	-	-	
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		3.0	0.09	-	-	
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		3.0	0.08	-	-	
5 空調・給排水配管の更新必要間隔		3.0	0.15	-	-	
6 主要設備機器の更新必要間隔		3.0	0.23	-	-	

2.3 適切な更新			-	-	-	-
2.4 信頼性			3.0	0.19	-	-
1	空調・換気設備		3.0	0.20	-	-
2	給排水・衛生設備		3.0	0.20	-	-
3	電気設備		3.0	0.20	-	-
4	機械・配管支持方法		3.0	0.20	-	-
5	通信・情報設備		3.0	0.20	-	-
3 対応性・更新性			4.9	0.29	-	4.9
3.1 空間のゆとり			5.0	0.31	-	-
1	階高のゆとり	高さ3.9m(事務所)、8.3m(倉庫)を確保している。	5.0	0.60	3.0	-
2	空間の形状・自由さ	0.1未満としている。	5.0	0.40	3.0	-
3.2 荷重のゆとり		床荷重29800N/m ² を採用している。	5.0	0.31	3.0	-
3.3 設備の更新性			4.7	0.38	-	-
1	空調配管の更新性	構造、仕上に干渉する事なく更新を行える様設置している。	5.0	0.17	-	-
2	給排水管の更新性	同上	5.0	0.17	-	-
3	電気配線の更新性	同上	5.0	0.11	-	-
4	通信配線の更新性	同上	5.0	0.11	-	-
5	設備機器の更新性	同上	5.0	0.22	-	-
6	バックアップスペースの確保	設備周囲にゆとりを持たせている。	4.0	0.22	-	-
Q3 室外環境(敷地内)			-	0.40	-	1.8
1 生物環境の保全と創出			1.0	0.30	-	1.0
2 まちなみ・景観への配慮			2.0	0.40	-	2.0
3 地域性・アメニティへの配慮			2.5	0.30	-	2.5
3.1	地域性への配慮、快適性の向上		3.0	0.50	-	-
3.2	敷地内温熱環境の向上		2.0	0.50	-	-
LR 建築物の環境負荷低減性			-	-	-	3.7
LR1 エネルギー			-	0.40	-	3.9
1 建物の熱負荷抑制			3.5	0.01	-	3.5
2 自然エネルギー利用			3.0	0.28	-	3.0
2.1	自然エネルギーの直接利用		3.0	0.50	-	-
2.2	自然エネルギーの変換利用		3.0	0.50	-	-
3 設備システムの高効率化		高効率照明の採用。	5.0	0.43	-	5.0
集合住宅以外の評価(ERRによる評価)		ERR=65.1%	5.0		-	-
集合住宅の評価			3.0		-	-
4 効率的運用			3.5	0.28	-	3.5
4.1	モニタリング		3.0	0.50	-	-
4.2	運用管理体制	運用、維持の方針を決めるようにしている。	4.0	0.50	-	-
LR2 資源・マテリアル			-	0.30	-	3.5
1 水資源保護			3.0	0.15	-	3.0
1.1	節水		3.0	0.40	-	-
1.2 雨水利用・雑排水等の利用			3.0	0.60	-	-
1	雨水利用システム導入の有無		3.0	0.67	-	-
2	雑排水等利用システム導入の有無		3.0	0.33	-	-
2 非再生性資源の使用量削減			3.4	0.63	-	3.4
2.1	材料使用量の削減		2.0	0.07	-	-
2.2	既存建築躯体等の継続使用		3.0	0.25	-	-
2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用	-	3.0	0.21	-	-
2.4	非構造材料におけるリサイクル材の使用	宅内舗装における路盤材に採用	3.0	0.21	-	-
2.5	持続可能な森林から産出された木材		-	-	-	-
2.6	部材の再利用可能性向上への取組み	再生骨材の路盤材を使用する。	5.0	0.25	-	-
3 汚染物質含有材料の使用回避			4.3	0.22	-	4.3
3.1	有害物質を含まない材料の使用	有害物質を含む材料を採用しない。	5.0	0.32	-	-
3.2 フロン・ハロンの回避			4.0	0.68	-	-
1	消火剤	ハロン消火剤を使用しない。	4.0	0.33	-	-
2	発泡剤(断熱材等)	ノンフロン断熱材の採用。	5.0	0.33	-	-
3	冷媒		3.0	0.33	-	-
LR3 敷地外環境			-	0.30	-	3.5
1 地球温暖化への配慮		高効率照明の採用。	3.8	0.33	-	3.8
2 地域環境への配慮			3.5	0.33	-	3.5
2.1	大気汚染防止	燃焼機器を使用しない。	5.0	0.25	-	-
2.2	温熱環境悪化の改善		3.0	0.50	-	-
2.3 地域インフラへの負荷抑制			3.2	0.25	-	-
1	雨水排水負荷低減		3.0	0.25	-	-
2	汚水処理負荷抑制		3.0	0.25	-	-
3	交通負荷抑制	宅内に待機場を確保している。	4.0	0.25	-	-
4	廃棄物処理負荷抑制		3.0	0.25	-	-
3 周辺環境への配慮			3.2	0.33	-	3.2
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40	-	-
1	騒音		3.0	0.33	-	-
2	振動		3.0	0.33	-	-
3	悪臭		3.0	0.33	-	-
3.2 風害・砂塵、日照阻害の抑制			3.0	0.40	-	-
1	風害の抑制		3.0	0.70	-	-
2	砂塵の抑制		3.0	-	-	-
3	日照阻害の抑制		3.0	0.30	-	-
3.3 光害の抑制			4.4	0.20	-	-
1	屋外照明及び屋内照明のうちに漏れる光への対策	夜間の作業等を行わないなど、周囲に配慮する。	5.0	0.70	-	-
2	星光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30	-	-

熊本県重点評価結果スコアシート

実施設計段階

建物名称 株式会社 上組 八代物流センター 東棟

■評価ソフト: CASBEE-NCb_2010_kmt2011(v3.0)

■使用評価マニュアル: CASBEE熊本《新築》2011年版

★熊本県重点評価結果				総合評価点		77.9
重点事項				評価点	重点事項 重み係数	評価配点
重点項目(配慮項目)		スコア	重み 係数			
① 温室効果ガス排出量削減の推進				90	0.40	36.00
Q1-2.1.3	外皮性能	3.0	0.10			
Q1-3.1.3	昼光利用設備	3.0	0.10			
Q1-3.2.2	昼光制御	3.0	0.10			
LR1-1	建物の熱負荷抑制	3.5	0.00			
LR1-2	自然エネルギー利用	3.0	0.20			
LR1-3	設備システムの高効率化	5.0	0.30			
LR2-2.1	材料使用量の削減	2.0	0.10			
LR3-2.3.3	交通負荷抑制	4.0	0.10			
② 安全安心で暮らしやすい社会の実現				52.5	0.20	10.50
Q2-1.1.3	バリアフリー計画	1.0	0.25			
Q2-2.1.1	耐震性	3.0	0.25			
Q3-1	生物環境の保全と創出	1.0	0.15			
Q3-3	地域性・アメニティへの配慮	2.5	0.20			
LR3-2.2	温熱環境悪化の改善	3.0	0.15			
③ 県の地域資源の有効活用と保全				67.8	0.20	13.56
Q3-2	まちなみ・景観への配慮	2.0	0.29			
LR2-1.1	節水	3.0	0.43			
LR2-1.2.1	雨水利用システム導入	3.0	0.29			
LR2-2.5	持続可能な森林から産出された木材	0.0	0.00			
④ 循環型社会の実現				89.2	0.20	17.84
Q2-2.2	部品・部材の耐用年数	3.0	0.30			
Q2-3	対応性・更新性	4.9	0.30			
LR2-2.2	既存建築躯体等の継続使用	3.0	0.10			
LR2-2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用	3.0	0.15			
LR2-2.4	非構造材料におけるリサイクル材の使用	3.0	0.15			

■評価点算出式

評価点は、以下の方法により算出しています。

◆総合評価結果

総合評価点 = (各重点事項の評価点 × 各重点事項の重み係数) の総和
※重み係数の総和は、「1」であること。

◆各重点事項(①～④の項目)

評価点 = (各重点項目のスコア × 各重点項目の重み係数) の総和 × (5/4) × 20
※重み係数の総和は、「1」であること。
※(5/4) × 20 : スコア4点を評価点100点に変換するスケーリング定数